

### 3 情報提供

#### ・ 防災教育コンテンツの周知について

・ 小学校における防災教育を支援するための先生方向けの「授業で活用できる防災・河川教育資料集」（防災教育コンテンツ）につきまして、旭川開発建設部HPに掲載しましたので情報提供いたします。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/as/tisui/a079110000003hxq.html>

・ 防災教育コンテンツの存在を広く知って頂くため、各自治体、各教育委員会HPへのリンク掲載をお願いします。

・ 次年度に改めて以下の資料を送付いたしますので、その際は各自治体の教育委員会への周知、さらに教育委員会から小学校への周知依頼をお願いいたします。

【参考】説明用資料（次ページから綴っております。）

- ・ 防災学習に役立つサイト 防災教育支援（チラシ）
- ・ 指導計画（防災教育コンテンツにも掲載していきます）

防災学習に役立つサイト

# 防災教育支援

～水害から命を守るために～

<https://www.hkd.mlit.go.jp/as/tisui/a0791l0000003hxq.html>



小学校の先生方へ

小学4年社会  
「自然災害からくらしを守る」  
小学5年社会  
「自然災害を防ぐ」など、  
学校の防災教育に役立てていただくため  
防災教育支援のホームページを  
作成しました。



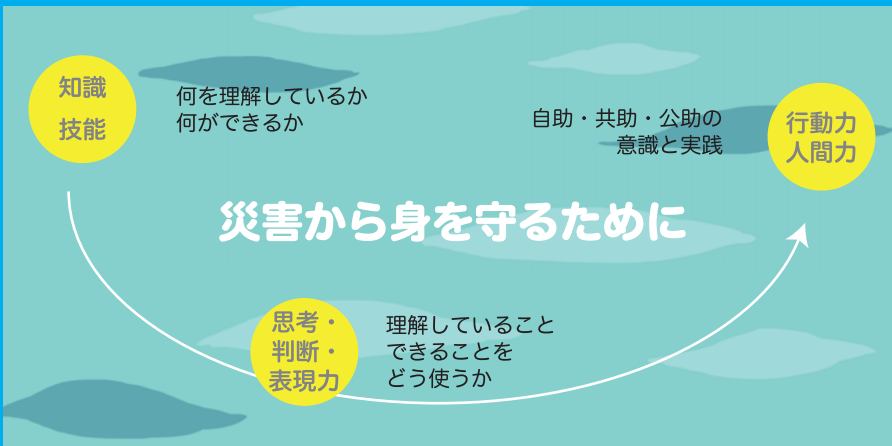
ワークシートやVTR、  
過去の水害写真など  
使えるツールを用意。



石狩川上流（旭川市など9市町）  
天塩川上流（名寄市、士別市など8市町村）  
の地域の水害資料や、  
防災について情報を集めました。  
一般の方々にも役立つ内容となっております。  
ぜひご活用ください。



## ＝ 自らの命を自らが守る力を育むための3つの柱



避難の方法や危険な場所など  
グループワークで学べます。



水害から身を守るために、  
水害が起きたらどうなるかを知り（知識・技能）、  
水害に備えてできることを考え（思考・判断・表現力）、  
水害に備えること（行動力・人間力）  
のできる力を育みます。

詳しくは裏面へ！



北海道開発局 旭川開発建設部

〒078-8513 北海道旭川市宮前1条3丁目3番15号 旭川合同庁舎

TEL : 0166-32-4245 (治水課直通) FAX : 0166-32-2934 E-mail : hkd-as-info@gxb.mlit.go.jp





災害対応の実務を担う北海道開発局では、幼少期からの防災教育が重要であるため、小学校における防災教育支援として、「授業で活用できる防災・河川教育資料集」を作成しました。

『防災教育支援～水害から命を守るために～』では、そのうち、石狩川上流、天塩川上流の授業で活用できる災害の写真や資料、それらを活かした授業の展開例を紹介しています。

子どもたちに身近な問題として災害を意識してもらうため、地域の写真や資料を集めています。また、避難経路を考えるワークショップや大雨警報発令時の行動など、ワークシートは参考記入例も用意していますので、家族や地域でも活用いただけます。

『防災教育支援～水害から命を守るために～』

<https://www.hkd.mlit.go.jp/as/tisui/a079110000003hxq.html>



新学習指導要領対応資料

地域ごと教材集のページへ

3つの水害学習プログラムへ

授業で活用できる教材ワークシート・教師用解説書のダウンロード

防災教育支援～水害から命を守るために～

新学習指導要領対応資料

地域ごと教材集のページへ

3つの水害学習プログラムへ

授業で活用できる教材ワークシート・教師用解説書のダウンロード

関係機関の防災教育に関するページ

避難時の参考ページの紹介

治水・減災の取り組み紹介

水害からくらしを守るために はたらく人たちが

水害からくらしを守るために はたらく人たちが

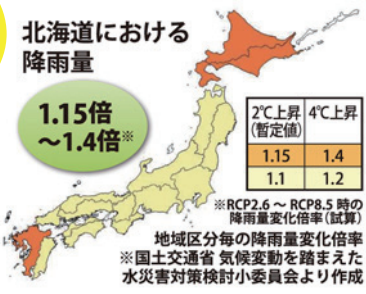
水害からくらしを守るために はたらく人たちが

大雨のときのみんなのルート

大雨のときのみんなのルート



自分や地域の問題として防災を考えられるよう、北海道の気象や災害の様々な統計や写真、南富良野町の台風被害を小学生や先生たちが語ってくれたインタビュー動画も用意しています。



関係機関の防災教育に関するページ

避難時の参考ページの紹介

治水・減災の取り組み紹介



## ○指導計画

### 【単元名】

「自然災害からくらしを守る」

教材はこちらからダウンロードできます。

▶ <https://www.hkd.mlit.go.jp/as/tisui/a07911000003w3l.html>



### 【単元の目標】

日本ではさまざまな自然災害が起こり、それらは国土の自然の特色と関わっていることを理解するとともに、災害から暮らしを守るためのさまざまな取り組みについて調べ、自分たちにできる取り組みについて考えさせる。

各時限のタイトル	時	本時のねらい	本時の学習活動 防災教育・河川教育の内容の付加	
自然災害からくらしを守る	過去の水害・自然災害の様子	1時間目	自分たちのまちや日本で起こった自然災害を調べることを通して、自然災害と国土の自然環境との関係について考えるとともに、自然災害から暮らしを守るための取り組みについて、調べていく見通しをもてるようにする。	・過去に地域で起きた災害の発生件数等から、今後どのような災害が起きる可能性があるのか気づかせるとともに、 <u>なぜ、そのような災害が起きるのか考える。</u>
	水害に備えてできること	2時間目	自然災害から暮らしを守るために、「減災」の考え方が広まっていることを捉えるとともに、水害から身を守るために大切なことを気付かせる。	・平成28年に起きた台風の流れを児童がイメージできるような状況付与を行いながら、水害に備えて「情報の集め方」と「避難時の行動」についてグループで考える。
		3時間目		・避難所までのイラストマップおよび洪水浸水想定区域図を活用し、水害に備えて「避難する時に気をつける場所」をグループで考える。
	水害に備えた取り組み	4時間目	自然災害から暮らしを守るために、国や都道府県などが、施設の建設や避難場所の決定・周知といったさまざまな公共事業に取り組んでいることを理解できるようにする。また、地域で協力してできることや自分にできることを考えられるようにする。	・地域を流れている河川で実施されている水害を防ぐための公共事業（捷水路、遊水地等の整備）について学ぶ。
5時間目		・水害を防ぐための先人の取り組みを通じて、 <u>地域の人々のくらしに恵みをもたらしていることを学ぶ。</u>		
			・水害から地域を守るための施設や働く人々について学ぶことで、洪水から地域を守るためには多くの人々が連携していることに感心を持たせるとともに、 <u>自分にできることを考える。</u>	

防災教育のねらい：

- ◆ 日本で起こった自然災害を知り、自然災害と国土の自然環境との関係について考える。
  - ◆ 水害から自分の命や身を守るための行動を考える（自助）
  - ◆ 自然災害から暮らしを守るための公共事業とその歴史について学ぶ。（公助）
  - ◆ 地域における防災活動について学び、積極的に参加する意識を育てる。（共助）
- } ⇒（減災）

「自然災害からくらしを守る」

①過去の水害・自然災害の様子

ねらい：自分たちのまちや日本で起こった自然災害を知り、自然災害と国土の自然環境との関係について考える。

目標：自分たちのまちでは大雨による被害が多く発生しているほか、日本では地震や津波など様々な災害が起きる可能性があることを気付かせる。

【展開】 □：画面で表示 ★：画面用データ・印刷物ともあり ◎：児童配布用 △：グループ配布用

	学習活動 …確認事項	→指導のポイント ・ ※留意事項
導入 (5分)	<p>1. 自然災害について調べよう</p> <p>課題：自分たちのまちや日本で起きた自然災害<small>さいがいの</small>について調べよう。</p> <p>【ワークシート】◎を配る。</p>	<p>→ 自然災害（自然発火による山火事など）と人的被害（放火など）との違いを確認する。</p>
展開Ⅰ (15分)	<p>自分たちのまちで発生した自然災害</p> <p>2. 【①-1 これまでに発生した自然災害のグラフ（伏字）】□を見せる。</p> <p>2'. 【①-1 これまでに発生した自然災害のグラフ（回答）】★を掲示する（答え合わせ）。</p> <p>2". 【①-2 自然災害の写真】★を掲示する。</p>	<p>→ 大雨による災害（水害）が多く発生していることや、水害以外の災害を学ぶ。</p>
Ⅱ (15分)	<p>日本で発生した自然災害</p> <p>3. 【①-3 日本の災害映像】□（約4分）を見せる。</p> <p>3'. 【①-4 日本の災害写真】★を掲示する。</p> <p>4. <u>教科書</u>で学習する。</p>	<p>→ 写真や映像を使い、日本では様々な災害が起こることを気付かせる。</p> <p>※ 単元のテストに対応できるように、教科書を使った学習を併せて行う。</p>
終末 (10分)	<p>まとめ：・自分たちのまちでは、大雨、大雪、暴風、地震などによる自然災害<small>さいがいの</small>が起きている。</p> <p>・日本では、大雨以外にも、地震、津波、噴火、土砂くずれなどによる災害<small>さいがいの</small>が起こることがある。</p>	

「自然災害からくらしを守る」

②水害に備えてできること（前半）

ねらい：水害から自分の命や身を守るための行動を考える（自助）①

目 標：水害から自分の命を守る為には、自分で情報を集めて避難することが大切であると気づかせる。

【展開】 □：画面で表示 ★：画面用データ・印刷物ともあり ◎：児童配布用 △：グループ配布用

	学習活動	→指導のポイント ・ ※留意事項
導入 (7分)	1. 【②-1-1 被害の映像】□(約3分半)を見せる。  課題：水害に備えて、「情報の集め方」と「避難時の行動」を考えよう。  【ワークシート】◎を配る。	→ 自分の地域で水害が起こる可能性があることに気付かせる。
展開Ⅰ (7分)	2. 【②-1-2 大雨時の映像】□(約20秒)を見せる。  グループワーク①：「どうやって災害などの情報を集めるか？」	→ 台風時にひとりである流れをイメージさせる。 → 水害から自分の命を守るための行動を考えさせる。 → 災害に備えるには、まず、今、何が起こっているのか、情報を集めることが大切であると気づかせる。
Ⅱ (7分)	3. 【②-1-3 防災行政無線の音声】□を流す。  グループワーク②：「避難してくださいという情報が入ってきました。どのような行動を取るか？」	→ 災害に備えるには、早めに避難することが大切であると気づかせる。  ※ 緊迫した状況であることを感じさせるため、制限時間を設けて進めると良い。
Ⅲ (7分)	4. 【②-1-4 水害から自分の命を守るための行動(板書用)】★を掲示する。  水害に備えて、「情報の集め方」を確かめよう。	→ 情報の集め方を教え、自分で災害情報を集められるようにする。  ※【社1-④補足教材：NHKd ボタンの使い方】等を参考に、地域の状況に応じて指導する。
Ⅳ (7分)	水害に備えて、「避難時の行動」を確かめよう。  5. 【②-1-5 水害から自分の命を守るための行動(配布用)】◎を配る。	→ 避難所まで逃げられない状況の時には、高いところや高い建物に逃げることを理解できるようにする。
終末 (10分)	まとめ： ・大雨の時にはテレビやラジオ、防災無線から情報を集める。 ・「避難してください」という情報が出たら、すぐに避難する。 ・避難所に行けない時には高いところへ避難する。	

「自然災害からくらしを守る」

②水害に備えてできること（後半）

ねらい：水害から自分の命や身を守るための行動を考える（自助）②

目標：大雨が降ると、まちの様子が変わり、命の危険がある場合があること、早目に避難することが大切であることを気づかせる。

【展開】 □：画面で表示 ★：画面用データ・印刷物ともあり ◎：児童配布用 △：グループ配布用

	学習活動 …確認事項	→指導のポイント ・ ※留意事項
導入 (5分)	1. 前時の振り返り  課題：水害に備えて、「避難する時に気をつける場所」について考えよう。 【ワークシート】◎を配る。	→ 【②-1-4 水害から自分の命を守るための行動（板書用）】★を見せて、「情報の集め方」と「避難時の行動」を振り返る。
展開Ⅰ (10分)	2. 【②-2-1 避難ルートのイラスト(板書用)】△★を配布して掲示する。 2'. 【②-2-2 避難ルートのイラスト(回答)】□を見せる（答え合わせ）。 グループワーク①:「大雨のときの避難ルートを考えよう」	→ 避難するときどんな場所を通ってはいけないのかを考える。 ※ イラストを用いることで、他の地域のどこにいても対応できるよう、一般化して考えさせる。
Ⅱ (15分)	3. 【②-2-3 防災マップ】□を見せる。  4. 【②-2-4 川があふれたときの水深】△★を配布して掲示する。 4'. 【②-2-5 水深がわかるイラスト】★を掲示する。 グループワーク②:「まちに水が流れ込んだら何が起きるか？」	→ 自分の地域の避難所を調べる。 ※ 防災マップ(PDF)のうち、学校のある地域や関連する地域のものを各先生が選択して使用する。防災マップは各家庭にも配られている。  → 自分の地域で災害時にどうなるか（浸水深）を知り、実際の災害時にどんな危険があるかを考える。 ※ 地域の情報を用いることで、身近な場所で、大雨のときに危険になりうる場所を学ぶ。 注；石狩川以外の川があふれた場合のことは反映されていないので、【②-2-3 防災マップ】や【②-2-4 石狩川があふれたときの水深】に色がついていない場所でも注意が必要です。
Ⅲ (5分)	5. 【②-2-6 水の力の映像】□（約1分）と【②-2-7 命を守る防災教育イラスト】★を見せる。 水の力を見くびるな	→ 川から溢れた水はにごって足元が見えないこと、流れがあり歩きにくくなること、水深があるところではドアが開かなくなることなど、大雨時に危険なことを理解できるようにする。
終末 (10分)	まとめ： ・ 自然災害が起きるとまちの様子が変わり、命に危険があることもある。 ・ 川の水があふれる前に早めに避難する。 ・ 避難する時には川や水路の近くや、土地が低い場所には近づかない。	

「自然災害から暮らしを守る」

③水害に備えた取り組み（前半）

ねらい：自然災害から暮らしを守るための公共事業とその歴史について学ぶ。（公助）

目標：「自助」に対する「公助」として、国や都道府県などが行う「公共事業」について理解できるようにする。

【展開】 □：画面で表示 ★：画面用データ・印刷物ともあり ◎：児童配布用 △：グループ配布用

	学習活動 …確認事項	→指導のポイント ・ ※留意事項
導入 (5分)	1. 前時の振り返り	→【①-2 自然災害の写真】★を見せて振り返る。
	課題：自然災害からわたしたちの暮らしを守る取り組みについて調べよう。 【ワークシート】◎を配る。	
展開Ⅰ (15分)	2. 【③-1-1 水害から暮らしを守る施設のイラスト】★を掲示する。 2'. 【③-1-2 水害から暮らしを守る施設カード（グループ用）】△を配る。 2". 【③-1-2 水害から暮らしを守る施設カード（板書用）】★を掲示する（答え合わせ）。 グループワーク：「石狩川周辺にある水害から暮らしを守る施設」	→ 施設写真と説明のカードを組み合わせながら、水害から暮らしを守る様々な施設があることと、それらの役割を学ぶ。
Ⅱ (10分)	先人たちの取り組み 3. 【③-1-3 先人たちの取組】□★を見せる。 3'. 【③-1-4 昔と現在の旭川市】を見せる。	→ 私たちの地域を守るために、先人が取り組んできたこと、この取り組みによって、石狩川に住む人々の暮らしに恵みをもたらしていることを学ぶ。
Ⅲ (10分)	自然災害から暮らしを守る施設 4. 【③-1-5 自然災害から暮らしを守る施設の写真】□を見せる。 4'. <u>教科書</u> で学習する。	→ 水害だけでなく様々な自然災害からまちを守る施設があることを学ぶ。 ※ 単元のテストに対応できるよう、教科書を使った学習を併せて行う。
終末 (5分)	まとめ：・自然災害からわたしたちの暮らしを守るために、様々な施設が公共事業で作られている。 ・昔から地域を守るための取り組みが行われている。	



「自然災害から暮らしを守る」

③水害に備えた取り組み（後半）

ねらい：地域における防災活動について学び、積極的に参加する意識を育てる。（共助）

目標：「共助」として、自然災害から暮らしを守るために、多くの人々が連携していることを知り、「減災」への取り組みを理解できるようにする。

【展開】 □：画面で表示 ★：画面用データ・印刷物ともあり ◎：児童配布用 △：グループ配布用

	学習活動 …確認事項	→指導のポイント ・ ※留意事項
導入 (5分)	1. 前時の振り返り  課題：自然災害から暮らしを守るために自分たちにできることを考えよう。 【ワークシート】◎を配る。	→【③-1-1 水害から暮らしを守る施設のイラスト】★を見せて振り返る。
展開Ⅰ (10分)	2. 【③-2-1 56 水害のインタビュー映像】 □（約6分）を流す。 水害から地域を守るためにはたらく人たち 3. 【③-2-2 学習シート～水害から地域を守るためにはたらく人たち】◎を配る。	→ 地域の水害を経験した人や災害対応活動を行った人の言葉をとおして、実際の水害時の状況について学ぶ。  → 学習シートを活用して、防災のための平常時と災害時の取り組みの内容と、取り組みには色々な人が関わっていることを学ぶ。
Ⅱ (20分)	4. 【③-2-3 H28 水害のインタビュー映像】 □（約3分半）を流す。 水害から暮らしを守るためにできること 5. 【③-2-4 学習シート～自分たちにできること】◎を配る。 5'. <u>教科書</u> で学習する。	→ 「自助」、「公助」に加えて「共助」について学ぶ。  → 自分たちにできることとして、避難場所の確認や防災グッズの用意など、災害が起きた時にいち早く避難できるよう普段から心がける事や、防災訓練の参加など地域との関わりなどへと導き出す。  ※ 単元のテストに対応できるよう、教科書を使った学習を併せて行う。  ※ 自分たちにできること（家族との避難所の確認、避難グッズの準備など）を自ら考え、実践できたかを学習の評価に加える。
終末 (10分)	まとめ：・自然災害に備えて、日頃から防災を意識して準備する。	